科目名	スポーツ社会学　　Sports Sociology						
科目担当者	古城 梨早　　KOJOU Risa						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［総合教育科目　スポーツ・健康］ 経営学部・経営学科［総合教育科目　スポーツ・健康］					ディプロマポリシーとの関連	(1)(2)
授業の概要	先ず、スポーツの概念を理解させるなかで、スポーツの文化的特性とその内容について理解を深め、さらに現代社会の中のスポーツ（現代スポーツの考え方）を考えさせ、スポーツを取り巻く環境の変化についても考えさせ、理解を深める。 また、角度を変えて、学校体育と競技スポーツと生涯スポーツとの関連やつながりについても考えさせ、望ましい生涯スポーツの在り方や、地域、企業と社会体育・スポーツの在り方を包含したかたちでの施策的なスポーツの在り方や推進策についても理解を深めさせる。						
授業の到達目標	①日々の生活を健康的に生きるために必要なスポーツを、個人的・社会的な面から考え望ましいスポーツの在り方を理解する。 ②スポーツの在り方について理解し、説明することができる。						

授業計画・内容		
	1	スポーツの意義と価値　1．スポーツの意義と価値とは
	2	2．社会の中におけるスポーツの価値
	3	3．文化としてのスポーツ
	4	4．スポーツの文化的特性
	5	5．「スポーツ宣言日本」におけるスポーツの意義と価値
	6	6．オリンピズムにおけるスポーツの意義と価値の捉え方
	7	現代社会とスポーツ
	8	スポーツの産業化と発展
	9	スポーツの歴史と発展
	10	スポーツのインティグリティ　1．スポーツにおけるインティグリティの確保
	11	2．アンチ・ドーピング活動
	12	3．アンチ・ドーピングのルール
	13	スポーツマンシップとフェアプレイ
	14	障がい者とスポーツ
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	授業範囲の教科書・資料等を読んでおく（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	授業に関して理解したことをまとめ、理解を深める（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	1授業の取り組み状況 2テスト 3自主的な学外活動	50% 40% 10%	① ①② ②

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	『Refarence　Book』公益財団法人 日本スポーツ協会 『未来を拓くスポーツ社会学』（株）みらい
参考文献	『よくわかるスポーツ文化論』ミネルヴァ書房 『２０２０東京オリンピック・パラリンピックを社会学する』創文企画
その他	